

令和7年生駒市教育委員会第5回定例会会議録

1 日 時 令和7年5月20日(火) 午前9時30分～午前10時40分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

- (1) 報告第8号 令和7年度園児・児童・生徒数について
- (2) 報告第9号 「二十歳のつどい」開催日及び開始時刻の変更について
- (3) 議案第17号 令和7年生駒市議会第4回(6月)定例会提出議案の意見について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委員(教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	レイノルズあい
委員	中 川 義 三	委 員	吉 尾 典 子

5 事務局職員出席者

教育部長	松 田 悟	生涯学習部長	坂 谷 操
教育部次長	南 口 嘉 子	教育総務課長	山 本 英 樹
幼保こども園課長兼務		教育指導課長	花 山 浩 一
幼保こども園課指導主事	牧 野 由 美	幼保こども園課指導主事	長 崎 文
児童総務課長	石 田 昌 代	生涯学習課長	甫 田 和佳子
図書館館長	西 野 貴 子	スポーツ振興課長	西 政 仁
教育総務課課長補佐	松 田 美奈子	教育指導課課長補佐	中 田 博 久
教育政策室長	杉 山 史 哲	こども園準備室長	澤 辺 誠
図書館南分館長	中 川 公 子	図書館北分館長	谷 江 真美子
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	スポーツ振興課課長補佐	大 畑 由 紀
教育総務課(書記)	土 井 智 史	教育総務課(書記)	寺 川 寧 々

6 傍聴者2名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

・いじめ防止月間における学校等での取組について、花山教育指導課長から説明
(質疑)なし

・生駒市生涯学習施設指定管理者の募集について、西スポーツ振興課長から説明
<参照：資料1>
(質疑)なし

○日程第3 報告第8号 令和7年度園児・児童・生徒数について

・令和7年度園児・児童・生徒数について、南口教育部次長、山本教育総務課長から説明
<参照：議案書p1～4、資料2>
(質疑)

吉尾委員：幼稚園児数が79名減少している点について、懸念される点である。学級数としては減っていないが、全体の数としては大きく減少している。幼稚園教育の質の高さはアピールしている実感はあるが、保護者のニーズとの乖離が要因となっている可能性が考えられる。給食の導入や幼稚園の統廃合などの対応策は検討しているのか、分かる範囲でご教示いただきたい。

南口次長：過去5年間の出生数の推移を確認したところ、保育園児数に比べて幼稚園児数の減少率が大きくなっている。園児数の減少に伴う幼稚園の再編については慎重に検討する必要がある。今後、保護者の意見を幅広く収集するとともに、他市の事例を参考にしながら、適切な対応を進めていくことを検討している。

吉尾委員：集団生活の保障がどのように確保されるかは、大きな課題であると考えられる。現在、壱分幼稚園となばた幼稚園が一体となって運営されているが、この統合によって園児数が大きく増加したことによる子どもたちの変容や成果を明らかにするとともに、保護者の方々がどのように感じているかを把握しながら、今後の方針を検討していくことが重要である。

レイノルズ委員：今後も幼稚園の園児数減少の傾向は続くと考えられるが、市内で子育てをされる方が希望する保育スタイルでお子さんを通わせる場所が確保されることが望ましい。現在の待機児童の状況と、昨年から今年にかけての保育所数の増減について教えていただきたい。

- 南口次長：本年4月に「生駒せいかなーサリー」という小規模保育園が開所した。また、昨年10月には先端技術大学内に「咲いてく保育園」が事業所内保育として開所している。待機児童数については、4月時点で19名、5月には13名となっている。保育園のニーズは高まっているものの、保育士の確保が難しい状況である。対策として、指導主事が大学へ出向き、保育士を目指している学生と直接話す機会を設けるとともに、既に資格を持つ人を対象にPRを行い、人材確保に取り組んでいる。現在、保育士不足により、定員までの受け入れが難しい状況となっている。
- レイノルズ委員：保育士としての仕事の魅力を維持し続けることが、安定的な人材確保のための重要な要件となる。そのため、既存の保育士の意見を幅広く収集し、どのように改善していくべきかについて検討を進める必要がある。
- 飯島委員：幼稚園、保育園、小学校、中学校において、子どもの数が大きく減少しているところがある。これらの増減は当初の想定範囲内であったのか。
- 山本課長：小中学校については、毎年2月に5年先を見通した想定を行っている。今回の減少は想定内の範囲である。また、増加については、生駒小学校や緑ヶ丘中学校で見られる。これは、開発による住宅の建設やマンションの建設などを見込みながら想定していた範囲内での増加である。
- 松田部長：幼稚園についてはコロナ禍での出生の時期ということで想定はしていた。あすか野幼稚園と桜ヶ丘幼稚園については想定外である。保護者のニーズや出生数の推移を調査して幼稚園再編に関わる基本方針を策定していきたい。
- 飯島委員：想定以上に子どもの数が減少している地域があることが分かった。コロナ禍の影響も考えられるが、長期的に見ても子どもの数は減少傾向にある。学校の統合などの対応については、従来の想定よりも早期に対策の必要が生じる可能性があるため、将来を見据えた推計を行い、今後の時代に備えた教育環境の整備を進める必要がある。
- 中川委員：幼稚園と保育園のそれぞれの良い点を活かしながら、生活の規律や学習に対する姿勢を育む環境を整え、集団行事の計画等も進めることが重要である。また、保護者の希望に沿った保育時間の延長などの対応も検討し、統廃合を視野に入れながら、新しい幼稚園・保育園の形を生駒市で構築していくことが求められる。集団保育の重要性を踏まえ、さまざまな情報を収集しながら、より良い準備を進めていくことが望ましい。
- 松田部長：本市は、就学前教育保育について共通カリキュラムで取り組むという方針がある。時代の変化に応じてリニューアルを行いながら、生駒市独自のものを構築していきたい。
- レイノルズ委員：校区の見直しを行った小規模特認校である生駒南第二小学校や、生駒南小学校、生駒南中学校について、校区外から通っている新入生の状況を教えていただきたい。

- 山本課長：生駒南小学校については、選択できる区域を広げたものの、児童数の増加は限定的である。今年度の児童数は、当初の想定通りとなっている。本日、来年度に向けて生駒南第二小学校で開催された小規模特認校の説明会には、10名以上の参加者が集まった。今後、生駒南小中学校の校区の在り方を慎重に検討していく必要がある。
- レイノルズ委員：近隣の学校よりも、ある程度児童生徒数の多い学校に通わせたいと考える保護者の意向がある。生駒南小中学校の魅力づくりが重要な課題となっている。生駒北小学校の児童数は少なく、高山地区第2工区の開発状況によって今後の児童数が増える可能性がある。これらの学校を含め、今後5年を見据えた際に、学校再編の必要性が生じる可能性のある学校について教えていただきたい。
- 山本課長：生駒北小学校については、現状の児童数が継続すると考えられる。これは高山第二工区の動向に左右される部分が大きく、鹿ノ台小・中学校の影響も考慮する必要がある。高山地区第2工区の担当部署と連携しながら、校区編成を進める方針であり、事前協議もすでに実施されている。また、急激な児童数の増加が発生した場合、学校施設の整備が間に合わない可能性があるため、開発の状況を注視しながら対応を検討する必要がある。
- レイノルズ委員：開発の見込みが無いエリアにおいて、児童生徒数の減少による再編の対象となる学校はあるか。
- 山本課長：生駒南第二小学校は、児童数の推移に関して注視が必要な状況にある。出生数をもとに5年先を見据えた予測を行っているが、最近では若干の増加傾向が見られる。
- 吉尾委員：小学校の学級数がそれほど減っていないということは安心である。教科担任制の導入は進められているが、1クラスの学校においてはどのように実施されているのか。
- 花山課長：小学校の高学年において、学校全体の体制として教科担任制授業を進めている。各校に1名以上の教科担任を配置しており、高学年を優先して進めている。
- 原井教育長：生駒北小中学校では、学級数は少ないものの、教科担任として多くの先生が配置されている。各学校の状況に応じて、適切な体制を整えながら教科担任制を進めていく方針である。

審議結果 【報告のとおり承認】

- 日程第4 報告第9号 「二十歳のつどい」開催日及び開始時刻の変更について
・「二十歳のつどい」開催日及び開始時刻の変更について、甫田生涯学習課長から説明
<参照：議案書p5～6、資料2>
(質疑)

飯島委員：資料2における、「二十歳のつどい」の開催時間のアンケートについて、午後開催を希望する理由について確認したい。

甫田課長：当日の美容室の予約が早朝になってしまうが午後開催だと時間に余裕が生まれるという理由が数多くあった。

レイノルズ委員：アンケートにおける、「二十歳のつどい対象者」と「ご家族」というのは、この年に二十歳になる人が対象であるのか。

甫田課長：令和9年1月に二十歳のつどいに出席する者とその関係者を対象者としている。

レイノルズ委員：二十歳のつどいを成人の日の前日とした背景を教えてください。

甫田課長：開催日の変更については、以前から二十歳のつどいの当事者や実行委員から前日にして欲しいという意見があった。これは、二十歳のつどいの翌日が祝日となることにより、友人と会う機会を確保しやすくなること、また大学や就職で遠方に住む参加者にとって帰宅に時間的余裕ができるという理由から要望されたものである。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 議案第17号

・令和7年生駒市議会第4回（6月）定例会提出議案の意見について、西スポーツ振興課長から説明

<参照：議案書p7～11、資料3>

（質疑）

レイノルズ委員：直営の施設と指定管理者の施設になることによる大きな違いは何なのか。

西課長：直営の施設は市が直接管理しており許可権限について教育委員会が行っている。指定管理制度となると、施設の管理運営を含め、指定管理者がする。指定管理者の導入により市民サービスの向上や自主事業の開催など、市民にとってより良いものになると考えている。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第6号 その他

・認定こども園壱分こども園整備経過報告と今後の予定について、澤辺こども園準備室長から説明

<参照：その他資料1>

（質疑）

吉尾委員：現在、子どもたちは比較的落ち着いて生活していると聞いている。今後も、子どもたちが「ここが自分の居場所だ」「ここが楽しい」と感じられる環境を作ることが重要だ。そのために、保護者の声に耳を傾け、子どもの様

子をよく観察し、職員同士が連携を取りながら話し合うことが欠かせない。また、工事が始まる際には、隣接する壱分小学校の安全管理にも十分配慮していただきたい。

澤 辺 室 長：壱分幼稚園児はバス通園となるため、保護者には「彩（イロドリ）」を通じて様子を発信し、丁寧に進めている。隣接する壱分小学校については、校長先生とも連携を図っている。工事日程が決まり次第、具体的な対応方法を含め調整を進めていく予定だ。

レイノルズ委員：新しい園舎になっても、壱分幼稚園にあった何かを思い出として残せるものがあると良い。これまでの歴史をどのように受け継いでいけるか、少しでも検討してほしい。

澤 辺 室 長：桜の木は残しやすいが、枯れてしまう可能性もあるため、他の方法も考えていきたい。

飯 島 委 員：解体工事および新築工事の期間が1年以上に及ぶため、近隣住民との情報共有を徹底し、安全に進めてほしい。

松 田 部 長：新築工事は「社会福祉法人どんぐり」が進める。しかし、公私連携幼保連携型認定こども園であるため、法人の関係者と話し合いながら調整を進めたい。

中 川 委 員：保護者や地域の方から新たな意見等があれば共有いただきたい。

澤 辺 室 長：先ほどの議論にもあったように、何か残せないかという話がある。解体工事と新築工事が並行して進むため、密に連携を図りながら進めていく。

・生駒南小学校・生駒南中学校整備事業について、山本教育総務課長より説明
(質疑)なし

・令和7年5月行事予定について、山本教育総務課長、甫田生涯学習課長から説明
(質疑)

飯 島 委 員：ischool「身近な外来生物・希少種について学ぼう」は座学かフィールドワークか。

甫 田 課 長：エコパーク21を会場とし室内での座学を行う。屋内の水槽では、カワバタモロコの育成を実施し、在来種と外来種の見分け方について学ぶ。また、エコパークの人工池で自然生物の鑑賞を予定している。

レイノルズ委員：29日の「プールへ行こう！」は誰が対象となるものか。

西 課 長：障がいのある子どもを対象としている。

○閉会宣告

午前10時40分 閉会